

～ 臨床検査技術科からの ミニ情報 ～

refeeding症候群の病態生理

慢性の低栄養では、生体のグルコース消費量は減少し蛋白の合成・分解は速度はともに低下します。その状態にグルコースを含む栄養を大量に投与すると、種々の代謝が急激に亢進し蛋白合成が促進されます。その結果、リン・カリウム・マグネシウムが細胞内に取り込まれ低値となります。

電解質の大移動がrefeeding症候群の本態です

■ 低リン血症

譫妄、知覚異常、筋痛症、筋力低下、呼吸困難、横紋筋融解症
乳酸アシドーシス、心不全、心停止

■ 低カリウム血症

麻痺、知覚異常、呼吸抑制、筋力低下、横紋筋融解症、
不整脈、血圧低下、ジギタリス中毒、心停止

■ 低マグネシウム血症

低カルシウム血症、低カリウム血症、抑うつ、無欲、食欲不振、腹痛
テタニー、運動失調、筋力低下、振戦、不整脈



